

令和六年度 美夫君志会 全国大会 御案内

コロナ禍もようやく終息し、例会等の集会が安心して開催できるようになりました。
つきましては、本年度の全国大会を下記のように実施いたします。今活躍中の優れた先生
方や若い研究者の熱のこもったお話が聞ける機会です。会員の皆様には奮ってご参加くだ
さい。なお、急な変更についてはホームページの「臨時掲示板」でお知らせしますので、
ご注意ください。

一、招待研究発表会

七月六日(土) 午後一時三十分～午後五時二十分
中京大学・名古屋校舎【センタービル(0号館) 六階 〇六〇三教室】

開会の辞・学会挨拶

挨拶

天平元年班田史生丈部龍麻呂挽歌の性質

遣新羅使人歌群と海上交通

『日本書紀』古訓について

―慶長十五年古活字版書き入れから考える―

二、懇 会

七月六日(土) 午後五時三十分～午後七時三十分
中京大学・センタービル二階 プレジール
会費…七〇〇円前納

三、研究発表会

七月七日(日) 午前十時～午後四時三十分
中京大学・名古屋校舎【センタービル(0号館) 六階 〇六〇三教室】

〔午前の部〕

笠金村の「入唐使に贈る歌」

ホホデミの説話から見る古事記日向三代の意義

〔午後の部〕

『日本書紀』八首歌考

―「御謡」としての来目歌―

「人妻ゆゑに我恋ひめやも」

―パラテクストが描く天武帝国としての万葉集―

久邇新京歌と関東行幸

―その文学史的意義―

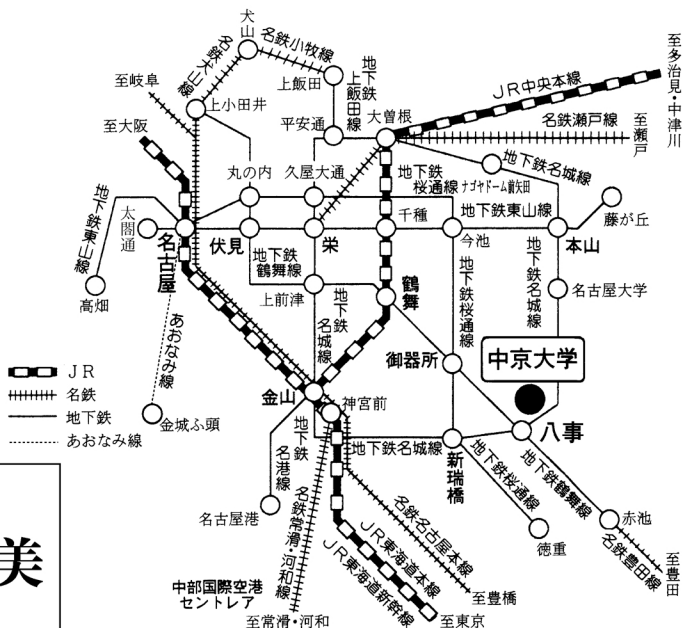
記紀における短歌型式歌謡の形態について

―字足らず句の分布を中心に―

閉会の辞

※発表資料を『資料集』として冊子に致します。当日受付にて、お求めの上《定価千円》ご利用下さい。
※出張懇請書入用の方は、八十四円切手同封の上、美夫君志会宛に。

※中京大学(会場)の所在
(地下鉄「八事」⑤番出口より)



ＪＲ利用 (地下鉄乗換)

・名古屋 (東海道本線岡崎・豊橋行) 4分
中央本線多治見・中津川行
6分
・名古屋 (中央本線多治見・中津川行)
6分
鶴舞

地下鉄利用

飛行機で来の方は中部国際空港から各線で乗換

金山 (名鉄線左回り) 16分
八事

鶴舞 (鶴舞線赤池行・名鉄豊田行) 10分
八事

伏見 (東山線藤が丘行) 15分
八事

伏見 (鶴舞線赤池行・名鉄豊田行) 15分
八事

栄 (東山線藤が丘行) 23分
八事

名古屋 (名鉄線左回り) 4分
八事

名古屋 (東山線藤が丘行) 14分
八事

本山 (名鉄線右回り) 5分
八事

名古屋 (桜通線徳重行) 14分
八事

御器所 (鶴舞線赤池行・名鉄豊田行) 6分
八事

名古屋 (桜通線徳重行) 20分
八事

新瑞橋 (名鉄線左回り) 6分
八事

美夫君志会

E-mail: mifukushi@ml.chukyo-u.ac.jp